

もっと、 こども まんなか

education column

いま、学校教育を取り巻く環境は、大きく変わってきています。こどもたちの未来のため、教育 DX の推進や不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、官民一体型学校など、武雄のこれからの教育について、一緒に考えてみませんか？



VOL.01

突然の休校騒ぎで気づいたこと

新型コロナウイルス感染症の流行で、授業ができない日が続き、自宅で過ごした日々。多くのこどもたちが自ら学習を進められず、戸惑いと不安を感じたことでしょう。そして、従来の画一的な授業スタイルでは、こどもたちが主体的に学習を進めることが難しく、教育のあり方を見直す必要性が浮き彫りとなりました。

武雄市の新たな目標：生涯学び続ける力を育む

この経験を生かし、学校の授業スタイルが大きく変わろうとしています。そのキーワードは、「こどもが主体」です。これは、武雄市が教育大綱で掲げる「もっと、こどもまんなか」と同じことを意味しています。従来の受験学力重視ではなく、生涯学び続ける力を育成することを目標としています。

どんな風になる？

学ぶ内容は変わりません。学び方が変わります。従来の「教師中心」の授業から、「こども中心」の授業へ。今までの学び方は、一斉型の指導で、教師が一方向的に授業を進めていき、こどもたちは教えられたことをノートに書いたり、与えられた問題を解いたりしてきました。グループ活動があっても学習内容やグループ編成は教師が決めていました。これからは、こどもたちが主体的に学びを進め、自分の興味や関心に合わせ

武雄市の教育、新たなステージへ！

こどもが主役のわくわくする学び

て学習し、自ら考え、議論し、協働する授業に変わります。

教育 DX と教師の役割

意図的にタブレットやクラウドを活用（教育 DX）すれば、こども



たちがわくわくする学びとなり、効果的な授業展開が期待されます。今年度は、4つの指定校（武雄中学校、武雄北中学校、若木小学校、武内小学校）を中心に、全ての小・中学校で実践が進みます。昨年度、市内から述べ68名の先生方が県外の学校を視察しました。その研修を生かして「こどもが主役でありこどもが選んで決める学びが中心」の学習活動を実践します。教師は学習内容を説明するだけでなく、こどもたちの学習活動をサポートする役割を担っていくことになります。

ご家庭でも、各学校で展開される新しい学びのスタイルをだんらんの話題の一つとして、見守り応援していただければと思います。



武雄市教育委員会
新しい学校づくり教育監 林 正昭



令和5年度に開催した「こども教育会議」において、第3期武雄市教育大綱を策定しました。第2期までの教育大綱『組む』をさらに推し進め、こどもたちだけではなく、武雄に住み、働くわたしたちが未来を創るという決意を表しました。これまで以上に、こどもをまんなかに考えるとともに、多様性を受け入れ、ひとりひとりがこどもたちの為に動き出すことにより、さらなる武雄市の教育の充実に取り組みます。

指針1 地域社会で育ち合う

指針2 誰一人取り残さない

指針3 希望を持ち夢を実現する

有料広告

不要品 / 遺品などの買取り、引取り お家、お部屋の片付け・ゴミ処分などお手伝い

- ・家電(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンなど)の家電法処分
- ・パソコン・食器・贈答品・楽器全般・バイク・工具・調度品・ミシン・本・自転車の買取など、どんな品でもご遠慮なくお問い合わせください

アイディーサービス 090-9951-7887(田嶋) 武雄市武雄町富岡8408-6